

関東道路

関東道路(武藤正浩社長)は5日、筑西市内の茨城サドベリースクール(田中邦東代表理事)の子どもたち9人を招待。同社わき約1.3haの自社農園で栽培しているジャガイモの収穫体験を行った。

同スクールは、不登校の子どもたちを受け入れ、自分で自由に学ぶことができるフリースクール。対象は6歳から15歳

自社農園に児童招く

— ジャガイモの収穫体験満喫 —

で、現在40人ほどの児童生徒が登録する。今回の農業体験は、法人会などで親交のあった武藤社長と呼びかけで実現した。

農園は武藤社長が所有しているもので、ジャガイモのほか、季節に合わせてサトイモ、サツマイモ、スイカ、カボチャ、トマト、キュウリ、ナスなどを栽培。主に、社員の高崎芳治氏が仕事の合間に手入れをしている。

今回収穫したジャガイモは、男爵、メークイン、キタアカリなど3種類。子



思い思いにジャガイモを収穫



子どもたちは農業体験を存分に楽しんだ

武藤社長は、「農園で採れた野菜は、市内の子ども食堂にも寄贈している。今回の収穫体験は自然の中で学ぶもうひとつの食育。今後は種イモから、生育をまかせたい」と話していた。

子どもたちは、ケース5箱ほど収穫したジャガイモを前に「カレーライスやポテトサラダにして食べたい」と喜んでいました。田中代表理事は、「スクールは子どもたちの居場所をつくらうと立ち上げた。地域の皆さんがこのような形で支えてくれるのはありがたい。子どもたちにはたくさんを経験を通して、生きるの楽しさや思いやりを伝えたい」と笑顔を見せた。

子どもたちは、ケース5箱ほど収穫したジャガイモを前に「カレーライスやポテトサラダにして食べたい」と喜んでいました。田中代表理事は、「ス